

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 8月 26日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県彦根市甲田町11番地
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
サンテクノス株式会社
代表取締役 右川 善道
第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	サンテクノス株式会社 代表取締役 右川 善道
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県彦根市甲田町11番地

1 事業者の概要

事業所の名称	サンテクノス株式会社						
事業所の所在地	滋賀県彦根市甲田町11番地						
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	8	3	3	※ 産業分類・細分類名称を記載 その他の工業用プラスチック製品製造業(加工業を除く)	
事業の概要	プラスチック射出成形						
従業員の数	37人			操業時間		24時間／日	
該当する事業者 の要件	☐ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500㌔リットル以上の事業所を県内に有する事業者						
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者						
	☒ 任意提出事業者						
主要な設備	ボイラ	台		熱源設備	22台	照明設備	台
	コンプレッサ	3台		空気調和設備	9台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和4 年度	報告対象年度	令和5 年度
	終了年度	令和5 年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

1. プラスチック射出成形及び付帯作業において環境に及ぼす影響を考慮し、省エネ・省資源・廃棄物の削減とリサイクルの推進に取り組み、地域社会との協調・共生に努める
2. 事業に関わる環境負荷を認識し、環境汚染の予防と継続的な改善を図ります。
3. 環境に関する法令・条例等関連法規制及び同意するその他の要求事項を遵守。
4. 環境負荷低減に向け、目的・目標を定め、環境マネジメントを定期的に見直し、継続的改善に努力する。

2 取組の推進体制

担当部署／プロセス マトリックス表

プロセス	トップマネジメント	ISOシステム管理・推進	購買管理・受発注業務	製品製造業務	製造技術・管理改善・開発	品質保証全般業務	生産管理業務	出荷業務	5S推進	支援業務	環境管理全般業務	危機管理業務
部署												
社長	◎	○							○		○	◎
工場長	○	○	◎	○				○	○	◎	○	◎
Q/EMS管理責任者		◎							○			○
品質保証室		◎		○		◎		○	○	○	◎	
生産管理課		○	◎	○			◎	◎	○	○		
製造課		○	○	◎	◎			○	○	○		
5S推進室		○							◎			

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

太陽光発電導入
 設備の高効率化(コンプレッサー、成形機、照明(LED)等)
 社用車の一部をハイブリット化へ促進
 工場の屋根に遮熱塗料にて空調負荷の削減

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	空調機の高効率化	2022年	現行のより高効率の空調設備2台導入
2	運用改善	コンプレッサーのエア―漏れ対策	2022年	エア漏れ点検及び修理実施
3	運用改善	コンプレッサーのエア―の吐出圧力低減	2022年	生産に影響が出る為現状維持
4	運用改善	待機電力改善	2023年	生産に影響が出る為現状維持
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
①空調機高効率化:CO ₂ 4t削減 ②コンプレッサーのエア―漏れ対策:CO ₂ 2.1t削減 ③コンプレッサーの吐出圧力低減:CO ₂ 3.7t削減 ④待機電力の削減:CO ₂ 4.6t削減	①空調設備を2台(メイン)を入れ替える事で削減出来ている。 ②エア―漏れに関しては各設備のパッキン等を修理して対策を実施。 継続的に推進する必要有り。 ③、④に関しては生産品の品質に関わる事で中々進展出来ていない。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	216	209	192			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	303	242	268			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	303	242	268			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0			
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	太陽光設置		太陽光FITで25KW設置済
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	25	kW	水力・小水力		kW	地熱		kW
太陽熱		kW	バイオマス		kW	その他 ()		kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績								

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	40,819	40,546	41,392			
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0			